



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月5日

上場会社名 住友金属鉱山株式会社

上場取引所 東大

コード番号 5713 URL <http://www.smm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家守 伸正

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部担当部長 (氏名) 高橋 雅史

TEL 03-3436-7705

四半期報告書提出予定日 平成23年8月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	212,907	△2.8	28,111	△4.4	37,635	26.0	26,341	30.6
23年3月期第1四半期	219,014	41.1	29,406	174.3	29,871	131.3	20,166	205.3

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 36,221百万円 (83.0%) 23年3月期第1四半期 19,793百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	46.87	42.89
23年3月期第1四半期	35.88	32.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,060,963	707,884	61.3
23年3月期	1,052,353	684,103	59.9

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 650,508百万円 23年3月期 630,116百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	20.00	32.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	428,000	△0.4	47,000	4.1	64,000	35.1	46,000	29.4	81.85
通期	809,000	△6.4	94,000	△2.1	124,000	0.2	85,000	1.2	151.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	581,628,031 株	23年3月期	581,628,031 株
24年3月期1Q	19,628,799 株	23年3月期	19,621,490 株
24年3月期1Q	562,001,106 株	23年3月期1Q	562,111,185 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年5月12日に公表いたしました平成24年3月第2四半期連結業績予想について、本資料において修正しております。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
(1) 海外相場・為替	12
(2) 主な製品別売上数量・単価・売上高（当社）	12
(3) 製品別生産量（当社）	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の世界の経済情勢は、中国をはじめとした新興国においては高成長を持続しましたが、欧米では欧州ソブリンリスクなどを警戒しながらの緩やかな回復となりました。一方、国内では東日本大震災の影響による生産及び消費の落ち込みや円高基調の定着により、景気は厳しい状況が続きました。

非鉄金属業界におきまして、ニッケル及び銅価格は、前連結会計年度において上昇基調にありましたが、当第1四半期連結累計期間では緩やかに下降したものの当期間末には下げ止まりました。一方、高水準で推移していた金価格は、当第1四半期連結累計期間を通じてさらに上昇しました。為替相場につきましては、当第1四半期連結累計期間末にかけて円高が進行しました。エレクトロニクス関連業界におきましては、ユーザーでの在庫調整が続きました。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間の売上高は、材料セグメントにおいて販売環境の悪化により減販となったことから、前年同期間に比べ61億7百万円減少し、2,129億7百万円となりました。営業利益は、銅及び金価格が前年同期間に比べ上昇していることにより増加しましたが、ニッケルでの在庫評価影響の悪化及び半導体材料での減販などにより、営業利益全体では前年同期間に比べ12億95百万円減少し、281億11百万円となりました。経常利益は、営業外損益が持分法による投資利益の増加及び為替差損の減少などから前年同期間に比べ90億59百万円好転したことにより、前年同期間に比べ77億64百万円増加し、376億35百万円となりました。四半期純利益は、前年同期間に比べ61億75百万円増加し、263億41百万円となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

① 資源セグメント

菱刈鉱山では順調な生産を継続しており、計画通りの産金量となっております。ポゴ金鉱山は、計画をやや下回る産金量となりました。モレンシー銅鉱山ほか海外銅鉱山については、銅価格が前年同期間に比べて上昇したことにより、業績好転に寄与しております。

売上高は、前年同期間に比べ38億54百万円増加し266億円となり、セグメント利益は、前年同期間に比べ63億76百万円増加し、232億86百万円となりました。

② 製錬セグメント

ニッケルは、前年同期間を上回る価格で推移しましたが、販売量はほぼ前年同期間並みとなりました。銅は、前年同期間を下回る販売量となりました。在庫評価影響の悪化があったものの、持分法適用会社の損益好転により、前年同期間を上回る業績となりました。

売上高は、前年同期間に比べ13億21百万円減少し1,739億42百万円となり、セグメント利益は、前年同期間に比べ24億53百万円増加し、148億92百万円となりました。

③ 材料セグメント

前年同期間は半導体及び液晶関係の旺盛な需要により好調な受注が続きましたが、当第1四半期連結累計期間は、ユーザーでの在庫調整が続き、前年同期間を下回る業績となりました。

売上高は、前年同期間に比べ74億24百万円減少し492億64百万円となり、セグメント利益は、前年同期間に比べ19億10百万円減少し、12億62百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、非鉄金属価格の上昇や休炉工事のための在庫積み増しによるたな卸資産の増加、タガニートプロジェクトに関する建設仮勘定の増加などから、前連結会計年度末に比べ86億10百万円増加し、1兆609億63百万円となりました。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ237億81百万円増加し、7,078億84百万円となり、自己資本比率は61.3%（前連結会計年度末は59.9%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

海外及び国内の経済情勢は、予断を許さぬ状況が継続しますが、新興国の需要は底堅く、非鉄金属価格は高水準を維持するものと見込まれることから、第2四半期連結累計期間の連結業績につきまして、前回予想（平成23年5月12日公表）に比べ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益がそれぞれ7～15%増加する見通しであります。なお、通期予想につきましては、見直しを行っておりません。

第2四半期連結累計期間及び通期の報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益の予想数値は以下のとおりであります。（参考：セグメント利益は(四半期)連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。）

① 24年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想（修正後）

(単位：百万円)

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額	計
売上高	49,000	342,000	99,000	490,000	14,000	△76,000	428,000
セグメント利益	42,000	21,000	2,000	65,000	0	△1,000	64,000

② 24年3月期通期 連結業績予想（前回予想通り）

(単位：百万円)

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額	計
売上高	98,000	619,000	204,000	921,000	35,000	△147,000	809,000
セグメント利益	73,000	39,000	7,000	119,000	1,000	4,000	124,000

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	92,024	94,282
受取手形及び売掛金	104,324	95,553
有価証券	36,500	14,500
商品及び製品	80,271	100,167
仕掛品	50,526	44,306
原材料及び貯蔵品	39,449	44,551
その他	69,706	67,158
貸倒引当金	△242	△216
流動資産合計	472,558	460,301
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	81,053	84,406
機械装置及び運搬具（純額）	107,762	106,422
工具、器具及び備品（純額）	4,823	4,694
土地	26,509	26,566
建設仮勘定	44,942	52,990
有形固定資産合計	265,089	275,078
無形固定資産		
鉱業権	8,824	8,672
その他	3,456	3,515
無形固定資産合計	12,280	12,187
投資その他の資産		
投資有価証券	282,317	293,165
その他	20,337	20,458
貸倒引当金	△222	△220
投資損失引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	302,426	313,397
固定資産合計	579,795	600,662
資産合計	1,052,353	1,060,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,593	30,487
短期借入金	65,841	67,651
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	15,520	5,652
賞与引当金	3,254	1,862
休炉工事引当金	970	1,112
事業再編損失引当金	189	189
関係会社整理損失引当金	5	5
環境対策引当金	106	106
災害損失引当金	387	343
その他の引当金	191	95
その他	66,430	74,970
流動負債合計	205,486	192,472
固定負債		
長期借入金	135,128	133,693
退職給付引当金	7,158	6,978
役員退職慰労引当金	58	49
事業再編損失引当金	1,032	976
損害補償損失引当金	0	0
環境対策引当金	26	26
その他の引当金	204	200
資産除去債務	4,268	4,407
その他	14,890	14,278
固定負債合計	162,764	160,607
負債合計	368,250	353,079
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,242	93,242
資本剰余金	86,063	86,063
利益剰余金	524,978	542,146
自己株式	△21,788	△21,798
株主資本合計	682,495	699,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,738	14,091
繰延ヘッジ損益	△4,636	△5,147
為替換算調整勘定	△65,481	△58,089
その他の包括利益累計額合計	△52,379	△49,145
少数株主持分	53,987	57,376
純資産合計	684,103	707,884
負債純資産合計	1,052,353	1,060,963

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	219,014	212,907
売上原価	179,792	174,435
売上総利益	39,222	38,472
販売費及び一般管理費		
販売輸送費及び諸経費	2,054	2,109
給料及び手当	2,339	2,393
賞与引当金繰入額	217	277
退職給付費用	281	265
役員退職慰労引当金繰入額	5	3
研究開発費	1,183	1,290
その他	3,737	4,024
販売費及び一般管理費合計	9,816	10,361
営業利益	29,406	28,111
営業外収益		
受取利息	125	174
受取配当金	652	704
持分法による投資利益	4,070	11,493
その他	185	250
営業外収益合計	5,032	12,621
営業外費用		
支払利息	641	673
デリバティブ評価損	666	723
為替差損	2,858	1,305
借入金地金評価損	65	61
その他	337	335
営業外費用合計	4,567	3,097
経常利益	29,871	37,635
特別利益		
固定資産売却益	38	36
投資有価証券売却益	—	60
貸倒引当金戻入額	8	—
特別利益合計	46	96
特別損失		
固定資産除却損	49	25
投資有価証券売却損	96	—
災害損失	—	16
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	361	—
特別損失合計	506	41

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
税金等調整前四半期純利益	29,411	37,690
法人税、住民税及び事業税	7,105	7,673
法人税等調整額	345	△206
法人税等合計	7,450	7,467
少数株主損益調整前四半期純利益	21,961	30,223
少数株主利益	1,795	3,882
四半期純利益	20,166	26,341

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	21,961	30,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,894	△3,642
繰延ヘッジ損益	△281	△556
為替換算調整勘定	△299	5,981
持分法適用会社に対する持分相当額	1,306	4,215
その他の包括利益合計	△2,168	5,998
四半期包括利益	19,793	36,221
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,880	29,575
少数株主に係る四半期包括利益	1,913	6,646

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位:百万円)

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	14,261	146,682	52,426	213,369	5,645	—	219,014
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	8,485	28,581	4,262	41,328	1,215	△42,543	—
計	22,746	175,263	56,688	254,697	6,860	△42,543	219,014
セグメント利益	16,910	12,439	3,172	32,521	226	△2,876	29,871

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	15,386	149,899	42,617	207,902	5,005	—	212,907
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	11,214	24,043	6,647	41,904	1,283	△43,187	—
計	26,600	173,942	49,264	249,806	6,288	△43,187	212,907
セグメント利益	23,286	14,892	1,262	39,440	△96	△1,709	37,635

(注) 1. セグメント利益の調整額は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
各報告セグメントに配賦しない本社費用 ※1	△2,367	△2,437
各報告セグメントで負担する資本コスト ※2	3,737	4,026
報告セグメント間取引消去	△1,640	△2,283
各報告セグメントに配賦しない営業外損益 ※3	△2,729	△1,137
その他調整額	123	122
計	△2,876	△1,709

- ※1 各報告セグメントに配賦しない本社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
- ※2 資本コストとは、社内管理上、各セグメント利益を算出するに際し、財務上金利負担を行っていない親会社の各セグメントに対して、その保有総資産見合いの金利負担額を算出したものであります。資本コストの算出は、親会社の各セグメントが保有する総資産に「社内金利」を乗じております。「社内金利」は親会社の資本と負債のコストを加重平均した金利相当を適用しております。なお、各セグメントで計上した資本コストの合計額は、同額を「調整額」でマイナス計上しており、全社合計では相殺されるため連結財務諸表上の影響はありません。
- ※3 各報告セグメントに配賦しない営業外損益は、報告セグメントに帰属しない為替差損益及び支払利息等であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 各セグメントに属する製品及びサービスの種類

セグメント	主要製品・サービス
資源	国内及び海外における非鉄金属資源の探査、開発、生産及び生産物の販売
製錬	銅、ニッケル、フェロニッケル、亜鉛、鉛の製錬、販売及び金、銀、白金等の貴金属の製錬、販売等
材料	半導体材料であるリードフレーム、テープ材料（2層めっき基板、COF基板(Chip On Film：液晶画面を表示させるICを実装する基板)）、ボンディングワイヤー等の製造、加工及び販売 機能性材料であるペースト、粉体材料（ニッケル粉等）、電池材料（水酸化ニッケル等）、結晶材料等の製造、加工及び販売
その他	自動車排ガス処理触媒、化学触媒、石油精製脱硫触媒、軽量気泡コンクリート等の製造及び販売、エンジニアリング事業、不動産事業等

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 海外相場・為替

	単位	当第1四半期 (実績)		平成23年度 (予想)	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年6月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
銅	\$/t		9,152		8,500
金	\$/TOZ		1,504.7		1,400.0
ニッケル	\$/lb		11.02		11.00
亜鉛	\$/t		2,254		2,200
為替(TTM)	円/\$		81.75		80.00

(2) 主な製品別売上数量・単価・売上高(当社)

報告セグメント	製品	単位	当第1四半期 (実績)	
			自 至	平成23年4月1日 平成23年6月30日
資源	金銀鉱 (金量)	t		36,381
		千円/DMT		202
		百万円 (kg)		7,351 (1,967)
製錬	銅	t		99,612
		千円/t		760
		百万円		75,657
	金	kg		9,981
		円/g		3,960
		百万円		39,521
	銀	kg		57,892
		千円/kg		102
		百万円		5,888
	ニッケル	t		15,153
		千円/t		2,148
		百万円		32,545
亜鉛 (受託亜鉛含)	t		6,155	
	千円/t		187	
	百万円		1,150	
	(t)		(25,290)	
材料	半導体材料 機能性材料	百万円		31,668

(注) 1. 当社は、主要製品の受注生産比率が少なく、主として見込生産によっております。

2. ニッケルには、フェロニッケルを含めて表示しております。

(3) 製品別生産量(当社)

製品	単位	当第1四半期 自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日
銅	t	85,508
金	kg	7,872
電気ニッケル	t	9,424
フェロニッケル	t	4,793
亜鉛	t	19,135
金銀鉱	t	36,427
(金量)	(kg)	(1,975)
亜鉛(委託分)	t	5,652

- (注) 1. 生産量には、受委託分を含めて表示しております。
2. 亜鉛の委託分は、外数として表示しております。